

全員が平成生まれ
新成人を祝福

今年は、新成人全員が平成元年度生まれとなる、節目の年となりました。記念すべき新成人の門出を祝う式典が、1月10日に勝山市民会館で開催され、本年は341人の対象者のうち、282人が出席しました。会場では、晴着やスーツを着た新成人から「久しぶり？元氣？」「今何してるん？」などといった、再会を喜ぶ会話がいたるところで聞こえてきました。

式典では、市長をはじめ、来賓のかたがたからお祝いの言葉を贈られ、新成人を代表して、中廣 希さん（鹿谷町杉俣）が誓いの言葉を述べました。式典後には「市民から新成人へ」言葉の贈り物」と題して、教育委員会職員が劇を交えながら、両親や家族、地域のかたがたからのメッセージを届けました。

また、新成人から募集していた「新成人の声」の入賞者表彰も行われ、斎藤あきさん（遅羽町蓬生）が最優秀賞を受賞しました。以下、その全文をご紹介します。

「神戸でひとり暮らしを始めてはや2年。勝山を恋しく思う気持ちは膨らむばかりだけれど、まだ帰れません。もっと勉強して、もっと経験して大きくなって、私をいつも温かく育ててくれた大好きな勝山に恩返しができるまで！」

恩師との再会

大人同士で話しも絶えず

成人式終了後、会場を教育会館ホールに移し、新成人で構成する成人式実行委員会主催の「新成人のつどい」（懇親会）が開催されました。

中学校時代の恩師がステージに並び、大きな拍手が沸き、久しぶりの再会に新成人の、喜びの表情が見られました。

和気あいあいとした会場では、カメラや携帯電話を片手にたくさんの輪ができ、新成人たちは、写真撮影や電話番号の交換などをしていました。恩師の周りには、次々と新成人が集まり、中学校時代の話や近況について、楽しく会話が弾んでいました。

祝
平成22年
人



1



2

1/式典会場には、新成人だけでなく、保護者や地域のかたがたなど、多くのかたが集まり、新成人の新しい門出を祝いました
2/久しぶりの再会に笑顔がこぼれます



4

3

3/誓いの言葉を述べる中廣 希さん

4/「新成人の声」で最優秀賞となった斎藤あきさん

5/式典でピアノ伴奏を務めた横川 亜美さん（栄町3）

6/新成人の身近なかたからのメッセージを代読する教育委員会職員。生まれたときから20年間の想いがたくさん詰まった言葉に、新成人は耳を傾けていました



6

5

7/再会を記念して恩師との写真撮影

8/「新成人のつどい」を主催した成人式実行委員会のメンバー（委員長：長谷川昌宏さん）

9・10/あちらこちらで、恩師や旧友との再会を喜ぶ輪ができていました。また、互いの晴れ姿をカメラに収め、旧交を温めていました。

11/会場の教育会館ホールでは、新成人の笑い声が絶えませんでした



7



8



10



9



11



カロール・ベルナ
オラさん
（ペルー）
ホームステイで来ています。
ペルーでは18歳で成人します。着物がとてもきれいで、うれしいです。



亀井 崇史さん
（栄町）
京都の大学に通っています。将来必ず勝山に戻って、消防士になります。勝山への思いは誰にも負けません。



林 美香さん
（旭毛屋町）
保育士を目指してがんばっています。
勝山に帰ってきたいと思っています。



武藤 浩平さん
（野向町）
いまは、将来の夢を探している途中です。
勝山を盛り上げていきたいです。



清水 優花さん
（鹿谷町）
看護師の勉強をしています。
一人暮らしを始めて、親のありがたみを感じています。迷惑かけないようがんばりたいです。